



宇宙へ まいどくん

中小企業で働く人たちがつくった
東大阪発の人工衛星「まいど1号」
を乗せたロケットが、いよいよ宇宙
へ打ち上げられます。

まいどくん

●打ち上げ日 来年1月21日(水)
午後0時54分～1時16分
●打ち上げ場所 種子島宇宙センター

※対象条件などは打ち上げ日や時間が延長する場合があります。



SOHLA-1 (まいど1号)

人工衛星「まいど1号」は、一辺が約50cmの立方体で重さが約50kg。1日5回～6回ぐらい日本の上空を通過して、雷の観測をするんだ。

今、地球の周りを回っている人工衛星は3,000個以上もあって、テレビ番組を中継したり、気象情報を集めたりしているんだよ。

まいど1号というのは愛称で、正式な名前は「SOHLA-1」。「まいど」にしたのは大阪人のあいさつだから。宇宙に行ったときに「まいど、ってね。

夢を乗せて！まいど1号いよいよ打ち上げ



組み立て作業

平成14年12月、中小企業で働く人たちが集まって「技術力を結集して夢を打ち上げよう」と、東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)をつくり、人工衛星の開発がスタートしました。

私の会社は、ふだん電気工事などをしていますが、人工衛星の開発では、バッテリーユニットという電池をつくりました。

知恵と工夫で夢を実現

中小企業の底力

苦しいときこそ夢をもたなアカン！



東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)の棚橋秀行さん

人工衛星は、さまざまな企業が作った部品が集まってできているんですよ。ほかの会社も人工衛星の部品をつくるのは初めてのことで苦労しましたが、それぞれの技術を最大限にいかして、担当する部品が宇宙でも問題なく動くよう、何度も試験を積み重ねてきました。

そして今年3月、企業や大学など多くの人たちの協力もあって、ついに人工衛星「まいど1号」が完成しました。

「苦しいときこそ夢をもたなアカン！」と立ち上がった職人集団の夢の実現から、モノづくりの魅力やおもしろさを知ってもらい、若者が集まる元気なまちにしていきたいですね。